



久保中学校 卒業生から地域の方へ感謝を伝える会

## 目次

● 3月定例会について.....	2	● 令和5年度委員会構成.....	15
● 一般質問（3月定例会）.....	8	● 4月臨時会について/今後の議会日程/編集後記	
● 議会報告・意見交換会.....	14	.....	16



令和5年第1回市議会定例会は、2月16日から3月24日までの37日間の会期で開催されました。主な審議内容について、掲載しています。



…………… 3月定例会 上程議案 ……………

全会一致で可決された議案

令和5年度 当初予算	国民健康保険特別会計
	介護保険特別会計
	水道事業会計
	工業用水道事業会計
	簡易水道事業会計
補正予算	公共下水道事業会計
	一般会計（第7号 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">P3参照</span> 、8号、9号）
	介護保険特別会計（第3号）
	水道事業会計（第1号）
条例制定	公共下水道事業会計（第1号）
	犯罪被害者等支援条例
条例改正	部制条例
	老人集会所条例
	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
	市営住宅条例
	国民健康保険税条例
	廃棄物の適正処理及び清掃に関する条例
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
	子ども・子育て会議条例
	国民健康保険条例
	消防手数料条例
	介護保険条例

全会一致で可決された議案

その他	山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の構成団体の変更並びにこれに伴う規約の変更について
	山口県市町総合事務組合の財産処分について
	市道路線の認定について
議員 提出議案	花岡小学校特別教室棟改築工事（建築主体）請負契約の締結について
	花岡公民館講堂改築工事（建築主体）請負契約の一部を変更する契約の締結について
議員 提出議案	議会の個人情報の保護に関する条例
	議会委員会条例の一部を改正する条例

賛成多数で可決された議案

令和5年度 当初予算	一般会計 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">P4・5参照</span>
	後期高齢者医療特別会計 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">P6参照</span>
	国民宿舎特別会計 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">P7参照</span>
その他	指定管理者の指定について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">P3参照</span>

閉会中の継続審査となった議案

請願	中学生の医療費無料化を求める請願 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">P3参照</span>
----	---



補正予算  
ピックアップ

○障害児保育費

[補正額:648万円]

民間保育園での対象児童増加に伴い増額

○新型コロナウイルスワクチン接種事業国庫負担金返還金ほか

[補正額:1億7,330万4千円]

ワクチン接種事業国庫負担金返還金

1億2,355万6千円

ワクチン接種体制確保事業国庫補助金返還金

4,974万8千円

○不況対策特別融資保証料

[補正額:790万円]

新型コロナの影響の長期化による指定期間延長に係る増額

《総務教育委員会 質疑》

**議員** 民間保育費の障害児保育費を増額した理由は何か。

**市** 当初の見込みより対象者が増えたため。

**議員** 新型コロナワクチン接種事業に関して、多額の補助金の返還金が発生しているが、その原因は何か。

**市** 実際の接種率が、想定より低かったため。

障害児保育費の増額、ワクチン接種事業国庫負担金の返還金ほか

〈全会一致で原案可決〉

〈議案第1号〉一般会計補正予算(第7号)

こんな意見が出ました。

《反対意見》

**田上茂好** 財団による質の高い運営が期待できるとされているが、運営に責任を持つ体制とは言い難い。

**渡辺敏之** 指定先の財団は、大城の運営においてずさんな管理が問題となっており、市民の理解を得ることはできない。

《賛成意見》

**浅本輝明** 開業以来施設の管理運営を担っている。指定期間を3年から1年にする事で、笠戸島全体の今後の観光事業を見据えている。

**松尾一生** 財団は市の観光振興、地域社会の健全発展のため、30年以上にわたり管理運営している。職員は健全な管理運営のため一丸となって懸命に努力している。その努力に応え、みんなで盛り上げよう。

下松市笠戸島家族旅行村の令和5年度中の指定管理者として、一般財団法人下松市笠戸島開発センターを指定することについての議案が上程され、賛成多数で可決されました。

家族旅行村の管理を笠戸島開発センターに 〈賛成多数で原案可決〉

〈議案第8号〉指定管理者の指定について

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森田	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果 賛成○ 反対×
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	(議長は表決に加わらない)



「中学生の医療費無料化を求める請願」が提出されました。その内容は、現在、本市において、中学生の医療費は入院分のみ無料としているものを、通院分も無料とすることを求めるものです。(本市では親の所得制限なしで小学6年生以下のこどもは、入院分・通院分ともに無料。)

環境福祉委員会(4月1日からは福祉教育委員会)に付託、閉会中の継続審査となりました。

中学生の医療費を通院分まで無料に

〈閉会中の継続審査〉

〈請願第1号〉中学生の医療費無料化を求める請願

請願の内容

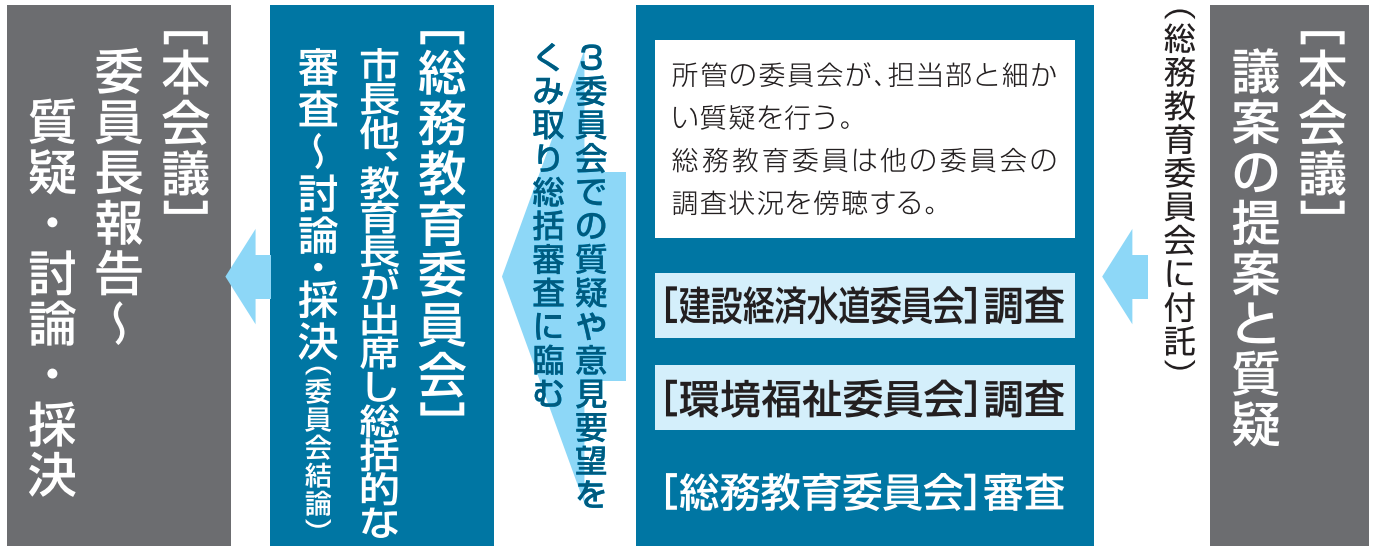
本市では令和2年8月より中学生の入院に係る医療費の無料化が実施され、とても喜んでます。隣の光市は中学生まで医療費を無料化、高校生は入院に係る医療費が無料化されています。周南市では小学生は無料で、中学生は医療費の一部が無償ですが所得制限があり、市によって対応が異なります。

社会情勢による物価高もありますが、食費は節約できても、医療費はできません。「これからは下松で安心して子育てし、ずっと住みつづけていきたい。」と、強く思っていますので、中学生の医療費を無料化することを求めます。

3月議会で

# 新年度予算が決まりました

## 《 一般会計予算審査の流れ 》



総務教育委員会

令和5年度

一般会計予算の審査

### 教育の充実

希望の星ラウンジサテライトルーム設置事業

233万3千円

不登校対策として、「希望の星ラウンジ」のサテライトルームを下松中央・末武・久保公民館に設置

埋蔵文化財活用事業 531万7千円

天王森古墳を中心とした埋蔵文化財の調査、研究を進めるため、組織体制の充実を図るとともに、新たに外部の専門家をアドバイザーに迎え、今後の活用等について検討を進める。



天王森古墳

### 《一般会計 質疑》

**議員** 新設される希望の星ラウンジサテライトルームについて、今後どのように運営していくのか。また、他の公民館への拡充についてはどう考えているか。

**市** 教育指導員1名、学習支援員1名の計2名体制で、下松中央・末武・久保の3か所の公民館において、週1回、午前中に実施する予定。他の公民館への拡充は、状況を見ながら検討していく。

**議員** 総合教育会議や教育委員会議での議論を受け、令和5年度予算編成に生かした点はあるのか。

**市** 会議では、天王森古墳から出土した埴輪などの文化財の保護や活用について、こどもたちにその重要性をしっかりと伝えていくことや、専門員配置の必要性について意見をもらった。このことから、令和5年度においては、文化財室の設置、文化財専門職員の配置、埴輪づくり体験教室の実施などに取り組む。

総務教育委員会

令和5年度 一般会計予算の審査



安全・安心確保

- 防災・減災対策事業 2,604 万円  
地域防災計画の改定、小中学校防災教育プログラムなど
- 消防・救急体制整備事業 7 億 2,939 万 9 千円  
水槽付消防ポンプ自動車を更新配備、静脈可視化装置の導入

効率・効果的な行財政運営

- 情報化推進事業 3 億 1,010 万円  
行政分野のデジタル技術の活用
- 笠戸島ハイツ跡地活用プロポーザル 3 万 3 千円  
解体工事等を進めるとともに、跡地については、民間活力を導入した整備、運営を進める。

こんな意見が出ました。

《反対意見》

**渡辺敏之** 学童保育の不足、遅れている子ども医療費助成など課題は多い。住みよさ向上のための方針や施策を市長に尋ねたが、具体策は示されない。後世に負担を押し付けることになるのではないかと危惧はぬぐえず、賛成できない。

《賛成意見》

**松尾一生** 令和5年度は多種多様な課題が山積している。これに対して、高齢者・障がい者福祉、子育て支援、学校教育をはじめ、各種産業振興、市街地整備など、限られた財源と人員によるバランスのとれた予算編成となっている。

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森田	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	賛成 ○
																			反対 ×

(議長は表決に加わらない)

総額 225 億円、前年比 0.2% 増

〈賛成多数で原案可決〉

〈議案第13号〉令和5年度下松市一般会計予算

健康で元気なまちづくり

子育て支援事業 15億 3,628万 6千円

保育・幼児教育支援事業 27億 2,440万 8千円  
私立保育所・幼稚園施設整備補助など

新型コロナウイルス感染症対策事業  
4,251万 2千円

健康づくり・食育推進事業 407万 4千円

国民健康保険特別会計

国民健康保険事業 52億 6,000万円

介護保険特別会計

介護保険事業 54億 5,000万円



《一般会計 質疑》

**議員** 私立保育園へのインクルーシブ遊具の設置について、具体的な考えは。

**市** 令和5年度は3園で必要な遊具を設置する予定。

**議員** 自殺対策について、どのように取り組むのか。

**市** ゲートキーパー養成講座や「通いの場」での心の健康教育を予定している。

**議員** 野犬対策はどのように行っているのか。

**市** 県と連携して野犬の捕獲に努めており、保健所での譲渡を積極的に進めている。

《国民健康保険特別会計 質疑》

**議員** 特定保健指導について、今後の取組は。

**市** 現在は栄養指導を行っており、一定の改善があったと考える。令和5年度は運動指導の教室を予定している。

《介護保険特別会計 質疑》

**議員** 認知症カフェの新規設置は。

**市** これまでの2つの認知症カフェに加え、令和5年4月から末武地区にも新規設置する。今後とも広げていきたいと考えている。

《後期高齢者医療特別会計 質疑》

**議員** 高齢者の人口割合が急上昇しているが、今後の保険料の見通しはどうか。

**市** 確定的なことは言えないが、今後も上昇傾向であると考えている。

こんな意見が出ました。

《反対意見》

**田上茂好** この制度は根本的な改善が必要であり、制度自体の廃止も考えるべき。政府・与党の社会保障審議会においても、年齢で区別しない新しい制度の議論がされてきた。老人福祉法の趣旨に沿った制度の実現を求める。

《賛成意見》

**柳瀬秀明** 増大する医療費を安定的に確保していること、軽減対象世帯が縮小しないよう配慮されている点、収納率向上の取組を安定的に行っていることなどを評価し、賛成する。

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森田	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	賛成○
																			反対×
(議長は表決に加わらない)																			

4.5%減  
総額10億7千200万円、前年比  
賛成多数で原案可決

〈議案第16号〉令和5年度後期高齢者医療特別会計予算

# 建設経済水道委員会

# 令和5年度 一般会計予算調査、事業会計予算審査 国民宿舎特別会計予算審査

## 強く機能的なまちづくり

### 豊井地区まちづくり整備事業

11億6,278万9千円

用地の補償、準幹線道路や生活道路等の調査・設計・工事等

### 恋ヶ浜緑地公園整備事業

3億3,600万円

誰でも遊びやすい遊具の設置や、利用しやすいトイレ、園路、駐車場の整備



恋ヶ浜緑地公園 遊具設置イメージ



## 《一般会計 質疑》

**議員** 豊井まちづくり整備事業について、自転車道を整備することは考えていないか。

**市** 国の基準を満たしていないため、難しい。

**議員** 豊井地区の雨水対策は。

**市** 雨水管の敷設、大谷川の断面改良、ポンプ場の整備などを進める。

**議員** 恋ヶ浜緑地公園事業について、混雑緩和のために駐車場を分散して整備した方がいいのではないか。

**市** 駐車場の出入口を改良するとともに、他の場所への整備についても研究する。

**議員** 恋ヶ浜緑地公園では、ボール遊び等はできるのか。

**市** 小さい子どもは問題ないと考えている。禁止事項等は近隣自治会と協議していく。

## 《国民宿舎特別会計 質疑》

**議員** 温泉掘削予定用地を以前に購入しているが、今後の掘削の予定は。

**市** 現在の泉源で湯量は十分であり、当面の間は掘削の予定はない。

## 《水道事業会計 質疑》

**議員** 利用水量は年々減少傾向である。水道料金改定の予定はあるのか。

**市** 老朽管の更新などは毎年必要なこともあり、料金改定も考える時期が差し迫っている。

## こんな意見が出ました。

### 《反対意見》

**田上茂好** 現在の利用料金制ではなく収受代行制に変更し、この特別会計に大城の売上金を含め、大城の収支を明らかにすべきである。売上金を公金として管理することで、行政が責任をとれる体制となる。

### 《賛成意見》

**藤井 洋** 現在の指定管理者には、利用料金制で運営を任せており、大城の収支がすべて特別会計に計上できないのは当然。予算に収支は明確に示され、特別会計設置の目的にも沿っており、賛成できる。

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森田	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果 賛成○ 反対× (議長は表決に加わらない)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	

総額8千万円、前年比2.6%増  
賛成多数で原案可決

議案第17号 令和5年度 国民宿舎特別会計予算

# 令和5年3月定例会一般質問

一般質問は、2月24日、27日、28日の3日間で行われ、10人の議員が市政全般にわたる諸問題について質問をしました。

質問日	質問者	質問項目	掲載ページ
2月24日 (金)	ほりもと ひろし <b>堀本 浩司</b>	1 施政方針について 2 子ども医療費助成制度の拡充について	9ページ
	あさもと てるあき <b>浅本 輝明</b>	1 市民の安全で安心な暮らしを守るために	
	なかむら たかゆき <b>中村 隆征</b>	1 下松の「お宝」といえる文化財の現状と今後の愛護施策について	10ページ
	やまね えいこ <b>山根 栄子</b>	1 水産業振興への取組について 2 消防行政が今求められているものは何か	
2月27日 (月)	たがみ しげよし <b>田上 茂好</b>	1 国民宿舎大城の運営実態について 2 子ども医療費助成制度の拡充について 3 義務教育における学校給食費の無償化について	11ページ
	きはら あいこ <b>木原 愛子</b>	1 自転車のヘルメット着用努力義務化について 2 旧花岡保育園の今後について 3 様々なワクチン接種について 4 配慮を必要とする児童・生徒の放課後支援について	
	やなせ ひであき <b>柳瀬 秀明</b>	1 ヤングケアラーへの支援について 2 市民が触れ合う「まちなか公園」の利用促進について 3 eスポーツを活用した取組について	12ページ
2月28日 (火)	こんどう やすお <b>近藤 康夫</b>	1 日本一の住みよいまちにするための手立てについて 2 中国電力下松発電所業務停止及び閉鎖に伴う諸課題について 3 下松市温水プールの建て替え・複合化計画の進捗状況について	13ページ
	いそべ たかよし <b>磯部 孝義</b>	1 「日常を取り戻す」どう変わる新型コロナ対応について 2 「車道が原則・左側を通行」自転車の基本的な交通ルールについて	
	わたなべ としゆき <b>渡辺 敏之</b>	1 住みよさに水を差すことになる新斎場での使用料の徴収について 2 都市計画税についての認識と対応について問う	





堀本 浩司

(公明党)

### 歴史伝統の保護と活用 天王森古墳出土埴輪20体 の活用について

**問** 古代史上、これほど重要な古墳はないとの学説もある中、約20体の埴輪は順次復元される予定。施政方針では、埋蔵文化財の調査、研究を進めるため、組織体制を充実させるとともに、外部専門家をアドバイザーに迎え、今後の活用等について検討するとある。どのように展示し、活用していくのか。その取組次第では、観光資源にもなり、本市のさらなる発展への起爆剤にもなりうると考えるが、市の考えを問う。

**答** 現在、復元を進めている家形埴輪と巫女埴輪は、復元後、前回の大刀形埴輪の時と同様にスターピアクだまつで展示する予定。復元した埴輪を一括展示する場所については、今後の課題である。

### 子ども医療費助成制度の 拡充について

**問** これまでも、子ども医療費助成制度の拡充について求めてきた。先般の衆議院予算委員会において、「高校3年生まで全国一律で無償化を実現すべきだ」との問いに対し、岸田首相は「意見を踏まえつつ、子育て政策充実の具体化を進めたい」と答弁している。本市として、どのように理解しているのか、考えを問う。

**答** 子ども医療費助成制度については、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、中学入院分まで、所得制限なしで実施している。市としては、国に対して、子どもたちが安心して医療を受けられるよう、全国一律の保障制度の創設を要望してきたところである。国の最重要政策と位置付けられたこともあり、今後、こども・子育て政策は大きく変容することが予測されるが、国の動向を最大限注視しながら、引き続き全国一律の保障制度となるよう要望していく。



### 救急車の救急搬送、高齢者の 防犯対策について

**問** ①コロナ禍の中で救急搬送困難事案が約3倍に増加している。救急搬送の迅速性を保つために、隣接市との連携協定といった市の対応について伺う。  
②近年増加している、高齢者を中心に狙われる還付金詐欺や押し入り犯罪等を防ぐために、どのように市は取り組むのか伺う。

**答** ①救急車の救急搬送については、当該市による活動が前提であり、消防・救急活動が円滑かつ迅速に進められるよう、受信から現場到着までの時間短縮に鋭意努める。  
②本市の昨年の電話詐欺は2件、70万円の被害が認知されている。うそ電話詐欺を防ぐためには、留守番電話設定や番号表示機能、



浅本 輝明

(政友会)

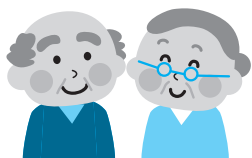
### 市民の安全で安心な暮らしを守るために

### 老人福祉会館玉鶴、市営住宅の 入居要件緩和について

**問** ①老人福祉会館玉鶴について、利用者が安全に利用できるように、施設の改築を含め今後の整備計画を示してほしいがどうか。  
②公営住宅の目的を踏まえ、と、「保証人がいないから、市営住宅に入居できない」といった事態があってはならない。本市の対応はどうか。

防犯機能付き電話等を活用し、相手を確認してから電話に出ることが有効な対策である。

**答** ①老人福祉会館玉鶴は、高齢者の教養の向上、レクリエーション及び憩いの場として利用されている。早期に整備計画を示せるよう、鋭意努力していく。  
②市営住宅への入居の際には、原則2名の連帯保証人を求めているが、保証人の確保が困難な場合には、状況を確認した上で猶予や免除などといった対応をしている。引き続き入居者に配慮した柔軟な対応をしていく。





中村 隆征

(新生クラブ)

### 下松市にゆかりのある指定文化財の愛護施策について

**問** 文化財は、今生きている我々の財産であり、お宝である。

**答** 文化財は有形、無形をはじめ、記念物や景観といった様々な分類をされているが、本市にゆかりのある指定文化財は何件あるのか。また、それらの文化財の保護管理に対し、行政からの支援はあるのか、伺う。

**答** 現在本市には、三角縁盤龍鏡ほか国指定5件、県指定3件、市指定14件の文化財がある。デジタルアーカイブでの情報発信や、「島の学び舎」での展示・表示で文化財への理解を深め、郷土愛の醸成を図っているところである。これらの文化財を保護し、次の世代へ継承していくため、指定文化財の修理や保護に係る補助金の交付のほか、文化財防火デーには所有者と協力して防火訓練等を実施している。

### シティプロモーションとしての文化財活用について

**問** 文化財は教育資源（教材）であり、観光資源でもある。「郷土愛」シビックプライドの育成及び醸成要因としての活用やシティプロモーションとしての活用も大いに考えられるが、今後、どのように取り組んでいくのか。

**答** 令和5年度より文化財室の設置や専門職員の採用など、文化財の保護・研究に取り組んでいく。あわせて、観光資源、市民の誇りとシティプロモーションにつながるよう、本市の貴重な財産を磨き上げ、市内横断的に認知度を高める取組を推進していく。

## 下松のお宝といえる文化財の現状と今後の愛護施策について



**問** ①栽培漁業センターにおいて、指定管理者である下松市水産振興基金が40年行ってきた沿岸漁業整備と水産資源確保の向上、また水産物ブランド化への取組状況と今後の展望を問う。

**答** ①栽培漁業センターは全国トップクラスの種苗生産、中間育成、稚魚の放流等沿岸漁業資源の確保を39年間行ってきた。また、ヒラメやフグ等の養殖技術を確立し、漁業者に公開し、漁業の振興に貢献してきた。これらの取組が、昨年末に四大行幸啓行事である「全国豊かな海づくり大会」において環境大臣賞を受賞した。今後もつくり育てる栽培漁業を推進し、漁場の整備・保全を進め、水産業の振興に努める。

②地産地食の取組の一環で、一月に小中学校で実施した「まるごと！くだまつ給食の日」において、初めて



山根 栄子

(鐵)

### 水産業振興への取組と水産ブランド化の取組と展望を問う

**問** ①栽培漁業センターにおいて、指定管理者である下松市水産振興基金が40年行ってきた沿岸漁業整備と水産資源確保の向上、また水産物ブランド化への取組状況と今後の展望を問う。

**答** ①栽培漁業センターは全国トップクラスの種苗生産、中間育成、稚魚の放流等沿岸漁業資源の確保を39年間行ってきた。また、ヒラメやフグ等の養殖技術を確立し、漁業者に公開し、漁業の振興に貢献してきた。これらの取組が、昨年末に四大行幸啓行事である「全国豊かな海づくり大会」において環境大臣賞を受賞した。今後もつくり育てる栽培漁業を推進し、漁場の整備・保全を進め、水産業の振興に努める。

②地産地食の取組の一環で、一月に小中学校で実施した「まるごと！くだまつ給食の日」において、初めて

## 祝！栽培漁業センター40周年 祝！環境大臣賞受賞

笠戸ひらめを食材として提供した。今後も、地元水産物に親しむ機会を提供していきたい。

### 消防行政が今求められているものは何か

**問** 米川公民館で行われた議会報告・意見交換会で、「本市の消防署から米川地区まで上がってくるより、隣接市にある消防派出所からくる方が早く、5分もかからない。柔軟な対応はできないのか」との声をいただいた。対応することは可能か。また、令和4年に県が出した消防広域化推進計画では、今後の消防体制の展望として、周南地区の統合とあるが、なかなか広域化が実現していない。その理由は何か。

**答** 消防・救急業務の管轄区域は、法律上、当該市による活動が前提であり、隣接市による救急活動は困難と考えている。

広域化については、職員の処遇や消防力の整備方針など、各市の消防の様々な整備状況には差がある。広域化するためには、これらの統一化といった課題等もあり、関係各所での協議も必要とされることから、実際に至っていないと考える。

**問** 米川公民館で行われた議会報告・意見交換会で、「本市の消防署から米川地区まで上がってくるより、隣接市にある消防派出所からくる方が早く、5分もかからない。柔軟な対応はできないのか」との声をいただいた。対応することは可能か。また、令和4年に県が出した消防広域化推進計画では、今後の消防体制の展望として、周南地区の統合とあるが、なかなか広域化が実現していない。その理由は何か。



田上 茂好  
(日本共産党)

### 特別損失の内容と原因は何なのか

**問** 国民宿舎大城の運営を行ってきた笠戸島開発センターの

令和3年度の決算に関する書類に、2千万円を超える特別損失が計上されていた。原因の主なもの、

オープン時のシステム設定ミス、勘定科目の間違いや二重計上などとしていますが、これが長期にわたって継続し、チェックできなかつたなどは、決して許されることではない。

大城は約30億円を投じて建設した施設で、借入金返済に多くの血税が充てられている。組織全体の経営資格が問われる問題であり、特別損失の詳細や理事会等の対応と責任、監事の職責を明らかにするとともに今後の運営体制を再検討すべきと考え

**答** 笠戸島開発センターの不適合な会計処理については、事務処理上の誤りや、チェック機能の欠如等、人為的なミスが原因であり、金額の誤差を特別損失として計上した。理事会等においては、この問題の報告が行われ議論された。監事の職責は、理事の職務執行の監査や法令に基づく法人の事務等を調査するものであり、今回、不適正な会計処理が行なわれていたことから再発防止に向けた取組を進めている。

財団の運営体制については、広く開かれた施設運営のための見直しを検討している等々の報告を受けている。

### 国民宿舎大城の運営実態は？



### 自転車のヘルメット着用努力義務化について

**問** 環境に優しい交通手段で、手

軽な乗り物として多くの人が利用する自転車だが、近年、関連する事故が増加傾向である。データによると、自転車事故における挫傷部位は、頭部が圧倒的に多い。こうしたこともあり、4月1日から自転車のヘルメット着用が努力義務化となった。本市の自転車事故の状況とヘルメット着用の啓発の取組について問う。

**答** 本市における自転車関連の人身事故は減少傾向にあり、その対象者の大半を成人及び高齢者が占めている。市では、小中高生を中心に、交通安全教室等で事故未然防止やヘルメット着用の重要性を啓発している。4月1日からヘルメット着用が努力義務化されることから、警察や関係機関と連携し周知を図るとともに、自転車利用者に対し、着



木原 愛子  
(無所属)

用の重要性や事故防止についての啓発を進めていく。

### 旧花岡保育園の今後について

**問** 平成30年に旧花岡保育園が閉

所され、もうすぐ5年が経とうとしている。建物の老朽化が進んでいるように見えるが、今後、利用・活用していく予定はあるのか。今後の方向性を問う。

**答** 旧花岡保育園については、平成30年の保育園民営化後、令和元年度まで児童の家として活用した。その後、花岡公民館講堂改築工事に伴う事務所として利用している。

今後については、建物も老朽化していることから、解体した上で、有効な活用方法について検討していく。

### 新しくスタートした交通ルール 旧花岡保育園の今後を明らかに





柳瀬 秀明

(公明党)

### 市や学校での取組について

**問** ヤングケアラーは、親の身体介護、幼い兄弟の世話、料理・掃除・洗濯等家事全般を一人で担う18歳未満の児童生徒のことを言っています。学業や体調への悪影響が出ることもあり、山口県では昨年7月にヤングケアラーの実態調査を行い、支援の強化を図っている。県の実態調査を踏まえ、本市では今後どのように支援に取り組むのか、考えを問う。

**答** 本市でも、ヤングケアラーの早期発見に努め、適切な支援につなげることが重要であると認識している。学校現場においては、児童生徒が相談しやすい環境づくりに努め、さらに市民全体への啓発・周知を図り、令和5年度より、支援を必要とする家庭に対し、訪問支援事業に取り組む。



新たな観光資源として、高齢者のフレイル予防として活用できないか

**問** 近年eスポーツは年齢、性別、身体の障害を問わず参加できるスポーツとして注目されている。

先般、スターピアクだまつで「eスポーツフェスタ」が開催され大反響と聞かれましたが、今後も観光資源として活用出来ないか。また、eスポーツは認知機能の向上が期待できることから、高齢者のフレイル予防に活用している自治体もあるが、本市においても取り組むことは出来ないか問う。

### ヤングケアラー、eスポーツを活用した取組について

**答** 今後については、今回得たノウハウを活かし、スポーツと観光の融合という視点から、観光誘客とも連携させる方策を研究する。また、eスポーツは頭と手を一緒に使うため、認知機能低下の予防となり、社会参加につながる事から、今後先進事例を踏まえ、取組を研究していく。



近藤 康夫

(政友会)

### 生野屋駅設置期成同盟会の街路灯撤去の経緯について

**問** 岩徳線生野屋駅は、旧国鉄時代の昭和62年、地元負担3割、市負担7割で建設され、同年3月27日に開設・開業の日を迎えた。地元負担金を調達するために、駅設置期成同盟会が結成され、私もその副会長として寄付集めに奔走した。

建設費2千万円の地元負担は、市との協定により、3割の6百万円が駅に充てられた。寄附残金をどうするかという協議の中で、「駐輪場は市が整備。駅周辺の暗さ解消の目的で、街路灯は寄附金残金で設置」となり、4基の記念街路灯を設置することになった。また、修繕・保守点検、電気代等の維持管理は市に委ねるものとしたのが歴史的経緯である。本年1月、同盟会には相談もなく、横断歩道前の記念街路灯が突然撤去されたが、その経緯と理由は何か。また、唯一残存する記念街路灯の、今後の維持管理の在り方を問う。

さらにこの撤去等により、駅周辺の安全対策は万全なものといえるか。

**答** 駅は、国鉄、期成同盟会、市による協定書に基づき、昭和62年に開業した。当該街路灯は、同盟会を通じて、地域住民の協力を得て設置され、市で維持管理をしてきた。36年が経過し、点検により支柱の腐食の進行が確認されたため、隣接する電柱にLED灯を設置した。残存する踏切近くのものには、設置当時の経緯を尊重し、補修等の方法で維持管理が可能であるか検討する。

駅周辺については、国道・踏切・市道近接の条件のもと、可能な限りの安全対策を講じていく。

### よみがえれ! 駅のランドマーク 残存する記念街路灯の補修を!



↑街路灯についている記念プレート



↑残存する街路灯



磯部 孝義

(新生クラブ)

「日常を取り戻す」  
「コロナ対応」

**問** コロナ禍3年間の感染症対応について対策本部総括を問う。  
「2類相当」から「5類」に移行する中、ワクチン接種や基本的な感染症対策（マスク着用など）の変化、市としての対応や情報発信の考え方を問う。

**答** ワクチン接種は全庁の職員を動員、医療機関と連携し着実に推進した。地域経済や市民の暮らしを守る施策にも取り組んだ。メッセージは複数回発出し、感染予防対策徹底をお願いした。対策本部中心に一丸となり、市民のみなさんの協力もあり、一定の成果をあげることができ、感謝申し上げる。

今後も状況に応じて、ワクチン接種や支援の検討をするなどオール下松で対応していく。基本的な感染対策の変容について、市民生活に混乱が生じないよう適切な情報発信に努めていく。

「車道が原則」自転車の基本的な交通ルール

**問** 自転車利用者へのヘルメット着用努力義務（令和5年4月）など新しい「自転車安全利用五則」が展開される。この機会に改めて自転車の基本的な交通ルールの周知が必要である。教育や周知、「自転車指導啓発重点路線」について、市の対応の考え方を問う。

**答** 自転車の基本的な交通ルールについて、現在、小・中・高校生を中心に交通安全教室等で啓発を行っている。「自転車安全利用五則」など、警察や関係機関と連携し周知を図るとともに、自転車利用者に対してヘルメット着用の重要性や交通事故防止の啓発を進めるなど安全教育の推進に努める。「自転車指導啓発重点路線」は市内2カ所を選定し指導を重点的に実施している。

## 新型コロナ「5類」移行 状況変化、新たな情報に留意を

### 《自転車安全利用五則》

- 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 夜間はライトを点灯
- 飲酒運転は禁止
- ヘルメットを着用

住みよさに水を差す  
新斎場での使用料徴収



渡辺 敏之

(日本共産党)

**問** 「御屋敷山斎場では、50年以上にわたって無料であったのに、なぜ新斎場では有料なのか？」と、繰り返し質してきたが、斎場の運営に責任を負っている施設組合の責任者である國井市長は、毎回同じで、納得できる答弁をしない。

市民の皆さんに、誠意もって説明し、納得を得ようとする態度ではない。改めることを強く求める。

**答** 火葬料徴収は、施設組合が決めることなので、答弁は控える。



## 「住民こそ地方政治の主人公」 納税者が納得できる行政運営を

**問** 市は、都市計画を定め、幹線道路や下水道などの整備事業を行う財源として、都市計画税を徴収している。令和3年度は計画事業に充当して、なお、1億8千万円の余剰金が発生している。この税は、『まちづくり』のためだけの特定財源として他の税などと区分し、基金に積み立て、後年の都市整備の財源に充てるべきではないか。

都市計画税の余剰額の取扱いについて

**答** 都市計画税は、下水道整備や区画整理事業などを行うための目的税であり、やむを得ず余剰金が生じた場合は、特別会計の有無により、余剰金を後年度に留保するか、基金を創設すること等が適当であると、国から取り扱いについて求められている。

現時点では、新たな基金の創設は考えていないが、今後の都市計画事業の計画的執行を図りつつ、法律の趣旨を踏まえ、適切に対応していく。

# 議会報告・意見交換会

於：花岡公民館、米川公民館



1月21日(土)に「議会報告・意見交換会」を花岡公民館と米川公民館で開催しました。6年ぶりの開催ということで、初めて参加する議員もあり、市民の皆さんの声を直接聞けるまたとない機会に、議員一同楽しみに当日を迎えました。それぞれの会場で、地区ごとの課題や魅力を話し合うことができ、議員からは「参考になった」「早急に実態を調査し解決に向け努力する」といった意見が出ました。今後、市内各所で実施していく予定です。

## 花岡公民館

参加者数：34人

参加議員：9人

### 花岡地区の課題について

#### ★まちの整備が進んでいない

- ⇒住居表示が進んでいない
- ⇒交通量に対して、狭い道が多い
- ⇒山が近く、土砂災害が心配
- ⇒岩徳線の本数も減少しており、車がないと不便

#### ★人口増加と住民の高齢化

- ⇒子どもが増えたのに、学校施設や遊び場が不足している
- ⇒古い団地も多く、地域ボランティアも高齢化
- ⇒新旧住民の交流が少ない
- ⇒公民館の駐車場が狭い

課題を解決するためには？

- ★行政が主導して、わかりやすい住居表示を早急に変更してほしい。
- ★実態にあった道路整備等を進めてはどうか。
- ★防災訓練を充実させてはどうか。
- ★乗り合いタクシー制度の導入など、JR以外の移動手段も確保しては？
- ★旧花岡保育園跡地を活用し、こどもの遊び場などにしてはどうか。
- ★行事に参加することで、地域とのかかわりを増やし、知り合いを増やしていく。
- ★公民館駐車場として、旧花岡保育園跡地を利用しては？

### 花岡地区の魅力について

#### ★歴史がある

- ⇒古くからの歴史と文化財、遺跡がある
- ⇒稲穂祭などの行事がある

#### ★住民活動が活発

- ⇒公民館活動が活発
- ⇒子ども、地域、人のつながりが良い

#### ★人口が増加し、まちに活気がある

- ⇒開発可能な土地があり、さらに人口増が見込める

魅力をより高めるためには？

- ★観光に力を入れて、人を呼び込むことが必要ではないか。
- ★地元高校生などとコラボイベントを実施してはどうか。
- ★歴史的な建物がどんどんなくなっている。ぜひ残したい。
- ★米泉湖の周辺にトイレや休憩所を増やして、みんながより集まれるようにしてはどうか。



## 米川公民館

参加者数：13人

参加議員：9人

## 米川地区の課題について

## ★人口が減少

- ⇒少子高齢化の進行
- ⇒後継者の不足
- ⇒空き家の増加
- ⇒買い物する場所がない

## ★鳥獣（イノシシ・サル）による農作物被害

- ⇒耕作放棄の増加

課題を解決するためには？

- ★住宅地を整備したらいいのでは。
- ★フリースクールを作ったらどうか。
- ★若者に対してもっと魅力発信をしなくては！
- ★農地の所有者と農業希望者を結びつける取組が必要。
- ★空き家バンクの取組が必要では。
- ★米川あったか便（米川地区ボランティアによる高齢者乗り合いサービス）をもっと充実させてはどうか。

## 米川地区の魅力について

## ★地域の絆が強い

## ★自然が豊か

## ★ゆず栽培やあまごの養殖などの取組

魅力をより高めるためには？

- ★魅力をしっかりとPRし、交流人口を増やしていく。
- ★若い人との交流機会を増やす。
- ★やりがいのある取組を次世代に継承していくことが必要。
- ★ハイキングコースを整備して、多くの人に訪れてもらう。

## 令和5年度下松市議会 委員会構成

◎：委員長 ○：副委員長 委員：五十音順

4月臨時会において、令和5年度の委員会構成が決定しました。  
 （常任委員会の名称及び所管を、4月1日から変更しています。）

## 企画総務委員会

◎ 堀本浩司	生野屋西2 44-0769
○ 磯部孝義	桜町1 44-2234
近藤康夫	生野屋3 43-2911
田上茂好	望町4 44-1586
松尾一生	古川町1 48-9787
森 良介	東陽2 46-4255
山根栄子	切山 46-1827

## 建設環境委員会

◎ 永田憲男	南花岡4 44-8716
○ 藤井 洋	西豊井 44-0373
金藤哲夫	生野屋3 44-8643
斉藤マリ子	栄町3 09080633228
村田丈生	下谷 53-0037
守田文美	栄町3 05052749811

## 福祉教育委員会

◎ 浅本輝明	旗岡4 44-3820
○ 中谷司朗	美里町3 43-5284
木原愛子	東豊井 08063304562
中村隆征	末武上 43-6187
柳瀬秀明	藤光町1 44-2398
三浦徹也	末武上 43-2268
渡辺敏之	潮音町3 44-0800

## 議会運営委員会

◎ 近藤康夫
○ 渡辺敏之
磯部孝義
永田憲男
中谷司朗
森 良介
山根栄子
柳瀬秀明

## 広報広聴委員会

◎ 山根栄子
○ 柳瀬秀明
木原愛子
藤井 洋
三浦徹也
渡辺敏之

## 4月臨時会 上程議案

### 全会一致で可決された議案

専決処分の承認	一般会計補正予算（第1号）
	税条例の一部を改正する条例
	都市計画税条例の一部を改正する条例
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例
	課税免除に関する条例の一部を改正する条例
補正予算	一般会計（第2号）

令和5年第2回市議会臨時会  
は、4月20日の1日限りで開催  
されました。  
主な議案は次のとおりです。ま  
た、委員会構成は前ページに掲載  
しています。

# 4月臨時会



## 今後の議会の予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定しますので、  
変更になる場合があります。

6月定例会	6月21日(水)… 本会議(初日)
	26日(月)… 委員会(付託があるとき)
	27日(火)… 一般質問
	28日(水)… 一般質問
	29日(木)… 一般質問
	7月 5日(水)… 本会議(最終日)



## 議員研修会を行いました!

1月17日に、議員互助会研修会をオンライン  
で開催し、全議員が参加しました。

**研修内容**  
議員とSNS

**講師**  
森山直樹 弁護士  
(広島弁護士会所属)



## 3月定例会傍聴者の声 ~傍聴お待ちしております



住んでいるまちのことを  
もっと知りたいと思って、  
初めて傍聴に来ました。

いろいろな議論を聞くこと  
ができて、よかったです。

左から、原田未晴さん、木下天玲紗さん  
(いずれも傍聴時は下松高生)

## 記事訂正のお知らせ

市議会だより前号(令和5年2月  
号)の掲載内容に誤りがありま  
した。お詫び申し上げますと  
ともに、以下のとおり訂正いた  
します。

[P4 議員の期末手当に関する  
条例改正の記事中]

**誤** 3.3月から3.35月に変更

**正** 3.25月から3.3月に変更

### 表紙の写真から

3月に久保中学校で  
「卒業生が地域の方へ感  
謝を伝える会」が開かれ  
ました。

3年間お世話になった  
地域の方に卒業生が感  
謝の言葉を贈りました。

森 良介

(マスクって意外に便利な時  
もあるんですね。)

この三年の間で「笑顔下手」  
になっていなかったでしょ  
うか? コミュニケーションの原  
点は言葉+豊かな表情ですよ  
ね。抵抗感はまだあるかと思  
いますが、春以降、少しずつ  
コロナ前の穏やかな、そして  
活気ある生活が取り戻せる  
といいですね。

素直に相手の感情が見て取  
れることの大切さも改めて確  
認できましたね。  
春の到来に合わせたように  
コロナも2類から5類へ。各業  
界の行事も少しずつマスク着  
用緩和に。特筆すべきは卒業  
式。一部制限はあるものの、  
児童生徒は着用無しで挙行  
できました。喜びも悲しみも  
しっかりと友の顔を心に刻む  
ことが出来たでしょうか?

## 編集後記

